



文部科学省 科学技術戦略推進費「地域再生人材創出拠点の形成」
「ものづくり一気通観エンジニアの養成」プログラム



No.3

一気通観だより



※豊田市の花「向日葵」

発行元：豊田工業高等専門学校 地域共同テクノセンター
住 所：〒471-8525 豊田市栄生町 2-1 TEL：(0565)36-5941
U R L：http://www.toyota-ct.ac.jp/~jimu/techno/

平成 23 年 6 月



開講挨拶を行う高井校長

平成23年度「ものづくり一気通観エンジニアの養成」プログラム第二期生の開講式が4月13日、豊田工業高等専門学校で行われました。開講式には、企業派遣受講生11人、専攻科受講生20人をはじめ、派遣元企業責任者、連携自治体の豊田市関係者、豊田工業高等専門学校教職員など約80人が出席しました。

高井吉明校長と豊田市産業部の鈴木辰吉部長が、開講の挨拶の中で本プログラム第二期生への期待を込めた激励の言葉を贈り、株式会社アイサクの須藤昭一代表取締役が来賓挨拶を行いました。また、受講生を代表し、専攻科学生の永柄雄己さんが、

「ものづくり一気通観エンジニアの養成」 第二期生開講式 受講生31人が決意新たに

新明工業株式会社の麻生優弥さんが決意表明を行い、プログラム受講への決意を力強く述べました。

校長あいさつ

◆豊田工業高等専門学校



校長 高井 吉明
豊田市、地域
企業の皆様のご
尽力により、晴
れて本プログラ

ム第二期生の開講式を迎える事ができました。企業技術者の皆様、専攻科一年生の学生を迎え、このように開講式を挙行出来ることを大変喜んでおります。

豊田市は、ものづくりの中心と言える土地柄でもあります。この地域で企業技術者の方と学生が協力し、ゼロから自分たちで考えて取り組むという教育は、非常に良い体験になると思います。一年目を終えた第一期生に対しても企業の皆様から高い評価を頂いております。ぜひ、試行錯誤を繰り返しながらプログラムを最後まで成し遂げ、ものづくりの喜びを感じて頂きたいと願っています。

来賓あいさつ

◆豊田市産業部 部長 鈴木 辰吉

本日、ここに「ものづくり一気通観エンジニアの養成」第二期のプロ



激励の言葉を贈る鈴木部長

グラムが
開講され
ることを
心よりお
喜び申し
上げます
先の震
災による
原発事故

が、日本のものづくりの信頼を大きく揺るがしたのではないかと思います。ぜひ、みなさんが一刻も早く信頼回復の為に戦士になって頂けますよう、心から祈念を申し上げます。

◆株式会社アイサク

代表取締役 須藤 昭一

「ものづくり一気通観エンジニアの養成」プログラム第二期の開講を心よりお喜び申し上げます。どうか充分楽しみながら、二年間しっかりと頑張ってください。

このプログラムを受講されるみなさんが、自分や自社の強みを生かし、自分で考えて行動できる新たなイノベーションの主導者として成長されることを心より祈念申し上げます。

第二期生 決意表明



◆専攻科生代表
永柄 雄己

他学科の学生、
企業技術者の方々

と共に取り組むという貴重な経験ができる本プログラムへの参加を大変嬉しく思います。この度の東日本大震災により様々な産業が多なる被害を受けた厳しい現況の中、今後のものづくり技術を自らが支え発展させていくという大きな目標を心に秘め、ものづくりに対する様々な知識や技術を身につけた技術者を目指して、努力して参ります。



◆企業技術者代表
麻生 優弥
近年稀にみる経済不況が続いてお

り、少し上向きかけたかのように感じられた矢先に先日のお東日本大震災が起きました。日本全土で大打撃を受けた社会情勢の中、日本の経済復興に少しでも貢献できる技術者が求められていると感じております。本プログラムを通じて、設計から生産までを一気通観できる技術者になれるよう、皆様方と共に切磋琢磨し、努力することを決意致します。

第一期生 実践課題研究「中間発表会」・「技術者マインドセミナー」を開催

第一期生 中間発表会

第一期生による「ものづくり一気通観エンジニアの養成」プログラムの中間発表会が平成23年3月2日、豊田工業高等専門学校図書館多目的ホールで行われました。中間発表会には、派遣元企業責任者、連携自治体の豊田市関係者、豊田工業高等専門学校教職員など約80人が出席しました。

実践課題研究テーマ「レゴブロックを使ったF1カーの製作」について、プログラム受講生で構成された各グループが発表を行い、グループ内での役割分担、進行状況、課題と改善に至ったプロセスを紹介しました。また、本年度の取り組みを振り返り、来年度の目標や抱負についても力強く述べました。



発表を行う受講生



受講生と出席者による質疑応答

発表後には、出席者との活発な質疑応答、意見交換等が行われ、二年目を迎える本養成プログラ

ムをさらに進展・拡充させていくための気付きを深める良い機会となりました。

また、特別講演として独立行政法人国立高等専門学校機構理事の五十嵐一男氏が講師を務め、「産学官連携による実践的技術者教育」と題して各高専の取り組み事例などを交えた講演が行われまし



五十嵐一男氏による講演

技術者マインドセミナー

中間発表会終了後、地域再生人材創出拠点の形成事業及び豊田市ものづくり人材育成事業にかかわる特別講演会が行われ、「ものづくり一気通観エンジニアの養成」プログラムの受講生、派遣企業関係者、豊田高専教職員など約180人が出席しました。

講演はH.Y.人材育成研究所長の肌附安明氏を講師に迎え、「自動車産業からの脱却と今後挑戦すべき成長新産業」と題して行いました。



肌附安明氏による講演

肌附氏は自動車産業の現在の状況と今後の動向を踏まえた上で、国内の自動車産業を取り巻く厳しい環境を解説しました。その上で、企業がビジネスチャンスの見いだせる新技術・新産業分野の具体例を紹介し、それらへの参入が企業の生き残りを左右することを強調。参加者は、肌附氏の示唆に富んだ講演に最後までじっくりと耳を傾けていました。